



は せ がわ
長谷川

ただし
正

む かい は
無 会 派

公共事業の下請・孫請条例の制定を

問 大手元請業者の中には自社の利益を優先させ、値切り幅がきつ過ぎるところもあり、下請・孫請業者の利益が出ずに参入しにくくなっていると聞き及んでいる。

津市が発注する公共工事は、下請・孫請業者に市内本店業者を優先して活用するなど、市内業者の育成を図るとともに、よりよい労働環境を守っていくための条例を制定せよ。

答 条例化も一つの方法であると考えますが、下請・孫請の関係や雇用者と労働者の関係までは踏み込めるものではなく、下請業者を市内本店とすることを義務付けた自治体が独占禁止法等の法令の観点から問題があるとして指導を受けた事例もあり、法的にも強制できるものではない。しかし、市内本店業者の受注機会をより確保し、元請業者が下請業者へ低価格で発注し、労働者の賃金が不当に搾取されることなどが無いよう、発注者として何ができるのか等の研究・検討を行った結果、平成27年4月から発注者からの強い思いとして「市内本店事業者の活用促進及び市民の雇用機会の確保等について」を定めたものであり、この効果が図れるようしっかりと周知し、取り組んでいく。

●その他の質疑・質問●

- 災害はいつ来るか分からない。市民の安全・安心のために今年の台風時期までに戸別受信装置を設置せよ
- 3年半が経過した外向発売所「津インクル」は、混雑して利用しにくく駐車場も狭い。本場を利用するなどして改善せよ
- 援護課職員が焼死体や腐乱死体の処理もしているが、特殊勤務手当3,000円は安過ぎる



▲サオリーナをはじめ、津市の公共工事は今建設ブームです



ふ く た けい いち
福 田 慶 一

しみんくらぶ
市民クラブ

中勢バイパスの開通と今後の進捗について

問 中勢バイパス（津市野田、高茶屋小森間）が、2月8日、地元の熱意と関係当局の努力により開通した。渋滞箇所の緩和や企業立地、救急救命搬送時間の短縮など大きな効果が期待されている。津市内の残された第7工区2.9kmの進捗状況とその取り組みはどうしているのか。また開通後接続する市道等で小さな渋滞が起きているが、その現状と市としての対策は。

答 第7工区については、用地取得率は99%で、平成26年度に工事に着手した。
また、国土交通省や財務省へ中勢バイパスの重要性を訴え、中部国道協会でも提言活動として重点的に毎年要望してきた。
さらに、開通目標年次が設定されると予算が優先的につく仕組みのため、第7工区の開通目標年次の設定を国土交通省に要望し、平成30年度と設定された。
2月8日開通した久居・野田間では、渋滞が各所で発生しているため、信号の調整などが警察により行われたが、抜本的な対策としては交差点の立体化や4車線化が必要だと考えている。
これらについて、三重河川国道事務所も連携して協議していく旨の返事があり、さらなる進捗に向け精一杯取り組む。

●その他の質疑・質問●

- 固定資産の評価替えについて
- 高齢者施設について
 - ・特養ホームの待機者の状況と施設整備状況は
 - ・定員に達していない老人施設に対する考え方は
- 成年後見制度について
 - ・後見人に対する考え方は
 - ・身上監護、療養看護についての考え方は など



▲救急医療など多方面での効果が期待される中勢バイパス